



地域ケア会議の取組（高知県南国市）

南国市では、対象者の自立に向けた支援を徹底することで、一人ひとりの生活の質の向上を目指しています。そのため、高齢者の運動機能や栄養状態といった特定の機能改善だけではなく、これらの心身機能の改善や環境調整などを通じて、できる限りADL、IADLが改善し、自立した生活が送れるよう総合的な支援を推進しています。その一環として、平成23年度に県のモデルとして、地域ケア会議を開催しましたが、平成24年度からは南国市の事業として位置付け、介護予防及び生活支援等の観点から、地域の高齢者の多様なニーズに対し、最も効果的な介護、保健、医療、福祉等の各種サービスを総合的に調整及び推進することを目的に定例化することとしました。

取組内容

●会議の内容●

- ・主に介護予防給付の対象者について、参加者の総合的な視点から、課題整理、支援方針や目標の明確化、チームでの共有化・役割分担などを行なう。

●対象者●

- ・要支援1・2と認定された新規事例
- ・新規事例の1回目評価時
- ・その他必要な事例

●実施回数●

- ・原則月2回 毎月第1・3水曜日(午前中)
- ・平成24年度は5月16日より19回実施



●参加者●

- ・南国市長寿支援課、南国市地域包括支援センター
- ・障害担当、生活保護担当等行政職員
- ・その他の保健、医療、福祉関係者
- ・指定居宅介護支援事業者、指定居宅サービス事業者

●実施件数●

- ・平成24年度：89件(新規事例69件、評価会議20件)

●検討した対象者の状況●

自立	3人
改善	2人
維持	45人
悪化	9人
プラン実施中	13人
合計	72人

維持の中では、サービスの提供内容が変化(改善)しているケースが多い

※新規事例69人、評価のみ実施3人

地域ケア会議がOJTの場となり、ケアマネジャーをはじめ事業所職員が自立支援や介護保険制度に対する理解を深めるきっかけとなっている。定期開催を行なうことで、南国市の課題も明確になってきており、第6期介護保険事業計画に反映できるよう取り組んでいきたい。